

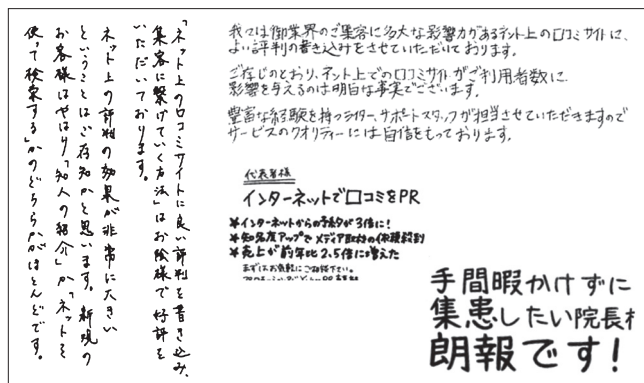
# 歯医者さんが教える 歯と口腔の健康管理

## 【最終回】「かかりつけ歯科」を持ちましょう！

監修／歯学博士 鹿島 健司

最近、食べログとかを利用してネットから店選びを行う方が多くなっているようですが、病院や診療所を選ぶ場合には十分な注意が必要です。ネットには規制がなく、書きたい放題・掲載したい放題。例えば、ある歯科医院のホームページに掲載されているインプラントの写真と同じものが、他の医院のホームページにも載っていたり…（ホームページ制作会社が同じだと、このようなことも起こりえます）。

有名病院・大学病院の選び方という場合には、手術ケースの回数というような物差しがあるのですが、歯科医院にはそのようなものはありません。コンビニよりも多いという歯科医院の事情を業者も心得ていて、ネット広告に関し、私の診療室にも迷惑なFAXが月2、3通送られてきます（写真）。インターネットの口コミサイトに良い評判を書き込んだりして患者さんを誘導する、いわゆる集患作業を行ってくれるということですが、このような書き込みに騙されないようにしましょう。ネット上のランキングも不正に操作されており、（歯科医から見ても）とんでもない歯科医院が上位にランクされていることもしばしばです。



業者から送られてくる美辞麗句がならんだ勧誘FAX

また、ネット上のスポンサーサイトに掲載するには、非常に高額な料金がかかります。結局は患者さんに課金されてしまうのですから、そのような歯科医院は注意を要するか、初めからスルーした方がよしいかと思えます。

また時おり、大手新聞社の子会社と称する出版社から電話があり、週刊誌や雑誌の特集記事でインプラントの名医の特集記事に載せないか？とか、週刊Aや週刊Bに“評判のいい歯科医院”“腕のいい歯科医”として掲載しませ

るか？といった、しつこいことを言ってきます。そのような雑誌に掲載するには多額な費用がかかります。週刊誌1ページ分の広告料は100万円を超えますし、小さく掲載するのも30万円ほど要します。名医もお金で買える時代となっていました…。

それでは、よい「かかりつけ歯科医」を選ぶ方法をお教えしましょう！

1. まず何よりも相性が一番です。抽象的ですが相性というものは何物にも代えられない選択基準だと思います。相性がよいと説明も丁寧になるし、治療もしっかり行ってくれる筈です。
2. 勉強会や研修会、学会に積極的に参加して研鑽を積み重ねていることも重要な要素です。年々新しい技術が開発されている分野なので、常に勉強していなければ技術・知識不足になってしまい、たとえ最新の設備を入れても、技術が未熟ならば使いこなせません。実際、ゴルフばかりやってる歯科医も多数存在するのも事実です。
3. 歯科医がたくさんいる医院も考えものです。勤務医の腕がよければ良いのですが、何といても院長先生が一番です。また、担当医がコロコロ代わるようだと治療が滞ってしまうし、上手くいく訳がありません。若い研修医のような先生を安く雇って遣っているところはアウトと言えます。
4. 診療時間が長く、夜遅くまでやっているところも考えものです。交替制で診療しているならまだしも、歯科の治療は集中力と、精密な手技を要します。休みなく治療を続ければ丁寧な治療は無理でしょう。
5. 昔と違ってこの業種はそれほど儲かりません。立地や華やかな広告、豪華な外観に惑わされないようにしましょう。なにより地道にコツコツとやられている先生が一番です。

足掛け5年にも亘る長い連載になりましたが、皆様の口腔管理に少しでも役立てば幸いです。お口の健康にも気を配り、よい「かかりつけ歯科医」を持って「健口生活」をエンジョイしてください。ありがとうございました。

監修／鹿島健司（歯学博士）。1958年1月生まれ。かしま歯科医院院長 日本大学歯学部・松戸歯学部兼任講師、川口歯科医師会理事（学術部長）